

【社会学部／社会学研究科】

2016～2020 年度入学者向け 履修要項（2020 年度配付）訂正・変更一覧
(2025 年 3 月 19 日時点 訂正・変更一覧)

* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映していません

<2025 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4 教務窓口	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	13	変更	I カリキュラムのしくみ (RIKKYO Learning Style)	2 科目ナンバリングについて 2.全学共通科目のナンバリング	①科目の設置学部学科（専修）・研究科を示すアルファベット 3 文字 ポルトガル語 ↓ 変更後 ポルトガル語（ブラジル）
3/19	19	変更	II 授業（学習生活）	5 補講	教務部掲示板および以下の場所で発表する。 ↓ 教務部掲示板で発表する。 (インフォメーションボード等削除)
3/19	105		博士課程前期課程 授業（学習生活）	項目の追加	10 全学共通科目の履修について (以降項番修正)
3/19	25	変更	III-2 履修規定 履修についての注意事項	9 他学部等科目の履修について	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	25-26	変更		10 派遣留学生・認定校留学生の履修	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること

3/19	27	変更	III-3 履修規定 単位認定	2 休学留学制度による単位認定	大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される。 ↓ 変更後 大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される場合がある。
3/19	40-52 118 ~129 144	変更	VI 試験・成績 <u>博士課程前期課程</u> VI 試験・成績 <u>博士課程後期課程</u> V 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」「試験方法」「追試験」「試験時間重複特別試験」「成績」に関する事など、項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	54	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	58 135 146	変更	VIII 学籍・学費 <u>博士課程前期課程</u> IX 学籍・学費 <u>博士課程後期課程</u> VII 学籍・学費	6 再入学 <u>博士課程前期課程</u> 5 再入学	項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	63	変更	X 5 大学間単位互換制度 (通称 f-Campus)	項目の追加	5 履修中止 f-Campus 科目は履修中止申請が認められない。 (以降項番修正)
3/19	72	変更	学部共通・学科・コースごとの履修規定、カリキュラム	3 基礎演習	担当教員を7月中旬に掲示にて発表するので必ず確認すること ↓

					変更後 4月上旬の履修登録状況画面更新日に正しく登録されていることを必ず確認すること
3/19	72	変更	学部共通・学科・コースごとの履修規定、カリキュラム	項目の追加	5. 中級調査法科目 (以降項番修正) ※履修を希望する場合は必ず R Guide の科目表で詳細を確認すること。なお「データ分析法」は履修することができない。
3/19	71 72	変更	学部共通・学科・コースごとの履修規定、カリキュラム	2-1 科目群ごとの履修要項 2-2 科目群ごとの履修要項	6.先修規定 に(2)(3)を追加
3/19	109 ~110	変更	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> 履修規定その他注意事項	4 プロジェクト科目	プロジェクト科目が通年科目に変更となった。 2025年度履修要項 「2. 履修登録」の内容を確認すること。

<2024年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
10/9	84	訂正	社会学科 科目表	専門教育選択科目 2 科目領域の名称	科目領域の名称を訂正 「倫理と方法領域」→「 理論 と方法領域」
5/10	90	訂正	国際社会コース 科目表	専門教育選択科目 2 社会学部共通科目（領域横断科目）	以下の科目を追加 「Cultural Anthropology A」 2単位 「Sociology of Gender A」 2単位
3/19	2 3	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は 2024年度版の履修要項で確認すること。
3/19	13	変更	科目ナンバリングについて	2 全学共通科目のナンバリング	言語系科目のナンバリング に複数の追加・変更が生じているので、 2024年度履修要項で確認すること。
3/19	19 20	変更	II 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講	

	103 104		博士課程前期課程 授業 (学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー)	8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「授業形態」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は 2024 年度版の履修要項で確認すること。
3/19	22	変更	III-1 履修規定 (単位)	2 卒業要件単位	以下の文言を追加 (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60 単位まで卒業要件単位に含めることができる (遠隔授業 60 単位上限)。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、II 授業 (学習生活) を参照
3/19	24	変更	III-2 履修規定 (履修についての注意事項)	2 履修登録上限単位数	「〈全学共通科目の履修登録上限単位数〉」において、言語自由科目 (英語) に関する記載を削除
3/19	34	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」(2) ※部分について 以下のとおり変更 全学共通科目言語 A (英語) ↓ 全学共通科目言語系科目
					「3. 抽選登録」(2) ⑥部分について 全学共通科目言語自由科目 (英語) に関する記載を削除
3/19	40 ～ 52	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	118 ～ 129		博士課程前期課程 VI 試験・成績		
3/19	54	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業 (9 月卒業) とは」において以下の文言を追加 (赤字部分) 3. 申請時において、在学 8 学期目以降の学生であること ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学 6 学期以降で足りるものとする

3/19	57 58	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、この項目は 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	134 135		博士課程前期課程 IX 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	61	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に以下のテーマを新設 9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。
3/19	69 ～ 93	変更	学部共通・学科・コースごとの履修規定、カリキュラム	履修規定全体	履修規定全体において「 専門演習2 」を以下の文言に変更。 「 専門演習2 」→「 専門演習2A・2B 」 「 専門演習2 」→「 専門演習2A 」「 専門演習2B 」 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	73	変更	5 専門演習2A・2B【学科・選択科目】	項目全体	「5. 専門演習2A・2B」の内容を変更 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	73 74	変更	6 卒業論文・卒業研究の目的と位置づけ	項目全体	「6. 卒業論文・卒業研究の目的と位置づけ」の内容を変更 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	74	変更	7 卒業論文【学科・選択科目】	2. 履修規定	(7) において以下の文言を変更 履修を希望する者は、 <u>秋学期授業開始日前日</u> の窓口終了までに申し出ること。 ↓ 履修を希望する者は、 <u>秋学期授業開始日前の8月末</u> までに申し出ること。

3/19	74 75	変更	7 卒業論文【学科・選択科目】	2. 履修規定	(8) において以下の文言を変更 履修を希望する者は、 <u>春学期授業開始日前日の窓口終了</u> までに申し出ること。 ↓ 履修を希望する者は、 <u>履修する前年度の3月末</u> までに申し出ること。
3/19	75	変更	7 卒業論文【学科・選択科目】	2. 履修規定	(9) において最後に以下の文言を追記 「履修希望届」の書式およびスケジュールについてはR Guideで確認すること。
3/19	75	変更	8 卒業研究【学科・選択科目】	2. 履修規定	(4) において以下の文言を変更 履修を希望する者は <u>春学期授業開始日前日の窓口終了</u> までに申し出ること。 ↓ 履修を希望する者は、 <u>履修する前年度の3月末</u> までに申し出ること。
3/19	76	変更	8 卒業研究【学科・選択科目】	2. 履修規定	(6) において最後に以下の文言を追加 「履修希望届」の書式およびスケジュールについてはR Guideで確認すること。
3/19	108	変更	博士課程前期課程 II 研究指導基本スケジュール	1. 基本スケジュール	<2年次>の行事項目から以下の文言を削除 1月下旬また2月上旬：修士論文報告会
3/19	109	変更	博士課程前期課程 III 履修規定（修了要件単位について）	1. 単位制度 2. 単位の考え方	1 単位制度において以下の文言を変更 本研究科博士課程前期課程の授業科目は、「研究指導演習」「修士論文作成演習」を半期1単位、その他の科目を半期2単位とする。 ↓ 大学院博士課程での学修は、単位制となっている。科目には一定の単位が定められており、その科目の履修登録をし、授業を受け、かつ、試験に合格した場合、当該科目の単位が与えられる。 「2. 単位の考え方」の項目追加 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。

	109		博士課程後期課程 III 履修規定	3. 単位制度	2. 単位制度において以下の文言を変更 本専攻博士課程後期課程の授業科目は、1週2時間半期の科目を2単位とする。 ↓ 単位制度については、博士課程前期課程II履修規定1修了要件単位「1. 単位制度」を参照すること。
3/19	130	変更	博士課程前期課程 VII 修士論文	5. 本提出の審査・口頭試問・修士論文報告会	【修士論文報告会概要】の項目削除
3/19	130	変更	博士課程前期課程 VII 修士論文	7. 論文審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加
	145		博士課程後期課程 VI 博士学位申請	6. 審査基準	6 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	131	変更	博士課程前期課程 VIII 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了〈特別修了（9月修了）（3月修了）申請条件〉」において以下の文言の削除 TESOL-J
3/19	144	変更	博士課程後期課程 III 履修規定	6. 重複履修について	「6. 重複履修について」の項目追加 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	98	変更	教育研究上の目的 学位授与方針 教育課程編成の方針・実施方針	項目全体教育研究上の目的	「教育研究上の目的」の項目削除
				学位授与方針 教育課程編成の方針・実施方針	内容が更新されているので2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
7/26	82	訂正	社会学部共通 科目表	単位数の訂正	専門教育選択科目2 「社会調査演習」 2単位 → 4単位
6/5	82	訂正	社会学部共通 科目表	単位数の訂正	専門教育選択科目2 「Global Study Program (Sydney)」 2単位 → 6単位

5/18	19	変更	II 授業	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。 申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。
	103		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス	「授業支援システム（Canvas LMS, Blackboard 等）」など、項目の追加や修正がされているため、「教務事項の伝達について」は 2023 年度版の履修要項で確認すること。
3/20	18	変更	II 授業（学習生活）	2 学期・授業 4 休講 5 補講	休講・補講、学校感染症の周知方法などに変更が生じているため、この項目は 2023 年度版の履修要項で確認すること。 ・学期に 4 半期科目の説明を追加 ・休講情報の掲示場所の文言を修正 ・補講に関する説明および掲示場所を修正 ・学校感染症についての情報掲載場所を修正
	102		博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	
3/20	25	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	9 他学部等科目の履修について	・「1. 注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲示板、または」 ・2. 「履修登録・履修の可否」において以下の文言を修正 履修要項 → R Guide
3/20	25	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	10 派遣留学生・認定校留学生の履修	「3. 帰国年度の履修登録」において以下の文言を追加（赤字部分） (1) 5 月末日（秋学期は 10 月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合、 (中略) 必ず所属キャンパスの教務窓口を確認すること。 ※帰国年度の履修登録は帰国届を提出していることが前提となる。
3/20	36	変更	V 履修登録	4 登録科目の確認について	「1. 登録科目の確認について」で文言の削除と追加（赤字部分）

	115		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> V 履修登録		Blackboard 及び SPiRIT Mobile (mobile V-Campus) 履修登録状況画面以外の時間割は正式な登録科目の確認には使用できないので注意すること。
3/20	39	変更	V 履修登録	6 履修中止制度	<p>2. 申請した科目の扱いにおいて以下の文言を修正（赤字部分）</p> <p>(1) 成績評価：評価対象とはならない ず、成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される。</p>
3/20	40~	変更	VI 試験・成績	項目全体	<p>「レポート試験」の提出方法が Web のみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加 ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
	119~		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> VI 試験・成績		
3/20	53~	変更	VII 卒業に関する事項	項目全体	<p>「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」（※学部生のみ）、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望留年（※学部生のみ）の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	131		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> VIII 修了に関する事項		
3/20	55~	変更	VIII 学籍・学費	項目全体	<p>「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	132		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> IX 学籍・学費		

3/20	61	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・ テーマ	「3. Discipline Course」に以下のコースを新設 6. Japanese Studies in English Program (仮称) ※2023 年度新設予定 日本の文化や社会への理解を深め、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み、日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。
------	----	----	---------------	--------------------	--

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	窓口時間等の記載を変更したので、2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	20	変更	II 授業（学習生活）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	学校感染症に第 3 種を追加。必ず 2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	110		博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/19	54	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業（9 月卒業）とは」の項目から以下の文言（下線部分）を削除 ※ 5 特別卒業を許可された場合、許可されて時点の学費の納入状況により返金を行うことがある。学費の納入額が特別卒業の申請条件として納入すべき金額に不足する場合は、特別卒業願を受理しない。
3/19	56	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学	「9. 休学中の学費について」内に以下の文言を追記 ※ 3 理学部における実験・実習費については、履修状況に応じて金額が異なる場合がある。

3/19				3 科目登録・登録結果発表 → 1 履修登録	「3 科目登録・登録結果発表(2)」について、文言(下線部分)を追記 (R Guide>履修登録> f-Campus について> 申込日程)
3/19	64	変更	X 5大学間単位互換制度(通称 f-Campus)	5 その他	「2. 施設の利用」について、下記文言を追記 また、社会情勢により施設の利用可否が変更になることがあるため、最新の情報は f-Campus ホームページで確認すること。
3/19	165	変更	プライバシーポリシー	全項目	2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	32	変更	V 履修登録	1 履修登録とは	以下の文言(下線部分)を追記 履修登録は、学生がその年度・学期に自分が履修しようとする科目を届け出る手続きであり、学習計画の出発点となるものである。
3/19	40	変更	VI 試験・成績	全項目	2022 年度入学者向け履修要項を必ず確認すること。全項目において大幅な変更が生じている。
3/19	78	変更	卒業要件単位表	卒業要件単位表欄外	下記文言を追記 ◆全授業回または一部の授業回を遠隔授業により実施する授業科目で修得した単位は、60 単位まで卒業要件単位に含めることができる。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 遠隔授業により実施する授業科目とは、オンライン科目(全回オンライン)、オンライン科目(一部対面)、オンデマンド科目(全回オンデマンド)を指す。 ただし、2020 年度および 2021 年度開講のオンライン科目・オンデマンド科目による修得単位については、新型コロナウイルス感染防止に伴う特例措置として、この 60 単位上限には算入されない。 なお、活動制限指針による「制限レベル 1～4」が適用され、一時的に授業実施形態の変更が生じたことにより、当該科目の対面授業回が遠隔実施になった場合も 60 単位上限には影響しない。

3/19	119	訂正	博士課程前期課程 IV 履修規定（単位認定/大学院間相互科目の履修）	3 入学前修得単位の認定	（2）認定の上限単位数 8単位。ただし、他研究科科目（8単位まで）と合わせて、 10単位 を上限として修了要件単位に算入することができる。 ↓ （2）認定の上限単位数 8単位。ただし、他研究科科目（8単位まで）と合わせて、 8単位 を上限として修了要件単位に算入することができる。
3/19	14	変更	カリキュラムのしくみ	2 科目ナンバリングについて	「2. 全学共通科目のナンバリング」の「②-（1）全学共通科目 言語系科目」および「②-（2）全学共通科目 総合系科目」の「◆1番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	14	変更			「3. 社会学部専門科目のナンバリング」の「◆1番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	106	変更	博士課程前期課程 科目ナンバリングについて	2 アルファベット・数字部分の説明	「◆1番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	25	変更	履修規定（履修に関する注意事項）	9 他学部等科目の履修について	「1. 注意事項 - （2）」の文言（下線部）を追記および削除 あらかじめ定められている「他学部学生履修不許可科目」は配当年次が合っても履修できない。対象科目は、当該科目を設置している学部等の教務部 Web 掲示板（ただし、新座キャンパス開講科目については、池袋キ

				<p>キャンパス教務事務センター内の掲示板) , または履修登録システムで確認しておくこと。</p>
3/19	25	変更	10 派遣留学生・認定校留学生の履修	<p>「1. 出国年度の履修と単位修得」について下記の通り文言を変更</p> <p>【変更後】 「在学留学」・「休学留学」中は、本学の科目（オンライン科目を含む）を履修し、単位修得することはできないが、留学開始前の学期に開講されている科目の履修は以下の通り認められている。留学開始日より履修、単位修得が認められる科目が異なるため注意すること。</p> <p>(1) 留学開始日が本学の定める春学期（または秋学期）の試験期間終了後の場合： 「在学留学」・「休学留学」のどちらを選択しても、出国年度の春学期1・2（または秋学期1・2）開講科目および春学期（または秋学期）開講科目を履修し、単位を修得することができる。通年科目の履修については、</p> <p>「2. 通年科目の接続」を確認すること。</p> <p>(2) 留学開始日が本学の定める春学期1（または秋学期1）の試験期間終了日の翌日から春学期（または秋学期）の試験期間終了日までの場合：「在学留学」の場合に限り、出国年度の春学期1（または秋学期1）開講科目を履修し、単位を修得することができる（春学期2および春学期（または秋学期2および秋学期）開講科目の履修は認められない）。春学期1（または秋学期1）開講科目の履修を希望する学生は、留学決定後速やかに所属キャンパスの教務窓口で、手続き方法などについて説明を受けること。</p> <p>※試験期間は R Guide で確認すること。 ※科目の開講学期は、R Guide 科目表およびシラバスで確認すること</p> <p>その他、詳細については国際センターが発行する派遣留学生の募集要項を参照すること。</p>

3/19	28	変更	III-3履修規定 単 位認定	4 入学前に修得し た単位の認定	以下の文言（下線部）を追加 入学前に本学または本学以外の大学・短期大 学等で修得した単位（科目等履修生として修 得した単位を含む）および短期大学・高等専 門学校の専攻科での学修について、認定を希 望する場合は、以下の通り認定することがあ る。
3/19	139	変更	大学院博士課程前期課 程 修士論文	修士論文	以下の項目を追記 【7. 論文審査基準】 論文審査は次の基準にもとづいて行う。 1. 研究テーマが明確で独創性があること 2. 研究内容と方法が明確であること 3. 論文構成が適切で、論旨展開が論理的で 明確であること 4. 文献・史資料の引証や調査データの利 用・提示が明確で適切であること 5. 調査・研究に対して倫理的配慮がなされ ていること
3/19	40	変更	1.試験に関する規定	社会学部専門教育科目 試験規則	以下の文言を削除 社会学部専門教育科目の試験に関しては、 R Guide 掲載の「社会学部専門教育科目試験 規則」もあわせてよく読んでおくこと。
3/19	47	変更	6.追試験	社会学部専門教育科目 試験規則	以下の文言を削除 ☞R Guide の「社会学部専門教育科目試験規 則」第4章を参照のこと。
3/19	118	変更	1.試験に関する規定	社会学部専門教育科目 試験規則	以下の文言を削除 社会学研究科科目の試験に関しては、「社会 学部専門教育科目試験規則」を準用するた め、R Guide 掲載の同規則もあわせてよく読 んでおくこと。
3/19	125	変更	6.追試験	社会学部専門教育科目 試験規則	以下の文言を削除 ☞R Guide の「社会学部専門教育科目試験規 則」第4章を参照のこと。
3/19	90	変更	国際社会コース科目表 —(2016年度以降入学 者に適用)—	専門教育選択科目2 コース指定選択科目 社会学部共通科目 —(領域横断科目)—	以下の2科目を追加 ・ Cultural Anthropology A ・ Sociology of Gender A
9/2	●	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項	V 試験・成績	秋学期科目および通年科目の成績発表時期 および成績表評価調査申請期間に関する記載 を追記訂正。

<2021 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達 について	1 掲示 2 教務関連 web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	左記の 4 つの項目については、 2021 年度入学者向け履修要項 を確認すること。
3/19	13	変更	カリキュラムの しくみ	2 科目ナンバリング 2. 全学共通科目のナンバリング	(2)全学共通科目 総合系科目 10 番台の分類 については、 2021 年度入学者向け履修要項 を 確認すること。
3/19	19	変更	授業（学習生活）	4 休講 休講情報	以下の文言（下線部分）を追記 休講情報は、SPIRIT Mobile および SPIRIT 教 務部ページからも確認することができる。
	<u>博士課程</u> 授業（学習生活・履修 計画・オフィスアワ ー）				
3/19	27	変更	履修規定 単位認定	休学留学制度による単位認定 (追加項目)	左記の項目を追加 詳細については、 2021 年度入学者向け履修要 項 を確認すること。
	(112)		<u>博士課程前期課程</u> 履修規定 単位認定		
3/19	31	変更	学習計画の立て方・ アドバイザー	2 アカデミックアドバイザー・ オフィスアワー 1. アカデミックアドバイザー	以下の文言（下線部分）を削除 アカデミックアドバイザーの詳細は、4 月は じめに R Guide および <u>社会学部掲示板</u> にて発 表する。
3/19	31	変更	学習計画の立て方・ アドバイザー	2 アカデミックアドバイザー・ オフィスアワー 2. オフィスアワー	「オフィスアワー」については、 2021 年度 入学者向け履修要項 および R Guide を確認す ること。
	105		<u>博士課程</u> 授業（学習生活・履修計 画・オフィスアワー）	10 オフィスアワー	
3/19	37	変更	履修登録	5 科目コード登録における履修 登録の修正と修正内容の確認 4. 申し出期限	申し出の際には次の 2 点を 持参 すること。 ↓ 申し出の際には次の 2 点を 提示 すること。
	116		<u>博士課程前期課程</u> 履修登録		
3/19	51	変更	試験・成績	9 成績 3. 成績評価調査の申請	以下の文言（下線部分）を追記 * 「成績評価調査申請書」は所属キャンパス の教務窓口で配付する。 * <u>変更等がある場合は SPIRIT 教務部ページ に発表する。</u>
	129		<u>博士課程前期課程</u> 試験・成績		

3/19	54	変更	卒業に関する事項	5 特別卒業 4. 特別卒業式	「4. 特別卒業式」を削除し、「3. 特別卒業申請受付と許可者発表」の中に以下の文言 (下 線部分)を追記 <u>学位授与式</u> 詳細は各学部の R Guide を確認すること。 時間については、許可者発表日にあわせて成績参照システムに発表する。
3/19	59	変更	グローバル教養副専攻	グローバル教養副専攻に関するすべての項目	大幅に内容を更新したため、左記については2021 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	82	変更	社会学部履修規定	学部共通科目表 国際社会コース科目表	科目名称変更 「フィールド実習」→「フィールドスタディーズ」
	91			現代文化学科 履修モデル	
	87				
3/19	84	変更	社会学部履修規定	社会学科科目表 国際社会コース科目表	以下の科目を2021 年度以降廃止 「ICT教育の実践によるコミュニティ支援」
	92				
3/19	111	変更	<u>博士課程前期課程</u> 履修規定 (修了要件単位について)	3. 自由科目	以下の文言(下線部分)を削除 (3) 他研究科科目のなかには社会学系単位互換協定に基づく大学院設置科目、聖路加国際大学大学院看護学研究科設置科目および福島大学大学院地域政策科学研究科設置科目(単位互換提供科目)を含む。
3/19	111	訂正	<u>博士課程前期課程</u> 履修規定 (修了要件単位について)	5. 他研究科科目	(1) 指導教員が必要と認めるときは、本学の他研究科科目(単位互換制度による科目を含む)を履修することができる。 ↓ (1) 指導教員が必要と認めるときは、本学の他研究科科目(平和・コミュニティ研究機構科目を含む)を履修することができる。
3/19	111	変更	<u>博士課程前期課程</u> 履修規定 (単位認定/大学院間相互 科目の履修)	1. 単位互換制度	以下の文言(下線部分)を削除 (1) 本専攻では、社会学分野の単位互換制度加盟校、聖路加国際大学大学院看護学研究科および福島大学大学院地域政策科学研究科との単位互換制度により、8 単位を限度として自由科目のうち他研究科科目として修了要件単位に算入することができる。単位互換協定校については R Guide を確認すること。

3/19	112	訂正	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> 履修規定 <small>(単位認定／大学院間相互 科目の履修)</small>	3. 入学前修得単位の認定	<p>以下の下線部を「4」に修正</p> <p>手続きは学部生の単位認定に準じて扱うので、申請期日等を「学部Ⅲ-3 履修規定-単位認定 <u>3</u> 入学前に修得した単位の認定」および SPIRIT 教務部ページを参照のうえ、池袋キャンパス教務事務センターに相談すること。</p>
3/19	130	変更	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> 修士論文	4. 本提出の審査手数料	<p>前期課程に在学して所定の単位を修得後、3年次以上に引き続き在学し、論文を提出する場合には、<u>R Guide に記載されている「立教大学学位論文審査手数料規則」を参照し、論文審査手数料を納入すること。該当者は、指定の金額分の証紙を池袋キャンパス教務事務センター内証紙券売機で購入し、論文と共に提出すること。</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>前期課程に在学して所定の単位を修得後、3年次以上に引き続き在学し、<u>論文を提出する場合には、論文審査手数料を納入する必要がある。具体的な納入方法・金額については、提出する年度の R Guide を確認すること。</u></p>
3/19	143	変更	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程後期課程</div> 履修規定	他研究科科目 (追加項目)	<p>以下の内容を追記</p> <p>他研究科科目</p> <p>(1) 指導教員および研究科が必要と認めるときは、本学の他研究科科目を履修することができる。</p> <p>(2) 修得した後期課程科目の単位は、最大2単位まで修了要件単位数に算入する。</p> <p>(3) 他研究科科目の履修を希望する場合は、その科目を設置している研究科が発表している「他学部・他研究科学生履修不許可科目」一覧または履修登録システムで履修登録の可否を確認しておくこと。また、他研究科科目の講義内容は、シラバス・時間割検索システムを参照すること。</p>
3/19	143	変更	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程後期課程</div> 履修規定	単位互換制度 (追加項目)	<p>以下の内容を追記</p> <p>単位互換制度</p> <p>(1) 本研究科では、社会学分野の単位互換制度加盟校、聖路加国際大学大学院看護学研究科との単位互換制度により、2単位を限度として自由科目のうち他研究科科目として修了要件単位数に算入することができる。単位互換</p>

					協定校については R Guide を確認すること。 (2) 履修登録の手続きについては, IV履修登録を参照すること。
3/19	143	変更	博士課程後期課程 履修規定	協定大学院科目の登録	以下の内容を追記 協定大学院科目の登録 博士課程前期課程履修規定その他注意事項IV 履修規定（単位認定／大学院間相互 科目の履修）の2. 協定大学院科目の登録を 参照すること。

<2020 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容

※次葉から【全学共通科目】の訂正・変更一覧

【全学共通科目】

2016～2020 年度 1 年次入学者向け 履修要項（2020 年度配付）訂正・変更一覧

（2025 年 3 月 19 日時点 訂正・変更一覧）

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

<2025 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 3. スポーツ実習	スポーツスタディ	<p>文章中の以下の下線部を変更</p> <p>また、各担当者から課せられるレポートを提出することにより、</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>また、各担当者から課せられるレポートやテストにより、</p>
3/19	全 38	変更	言語系自由科目 自由科目 1. 自由科目 履修上の注意	先修規定	<p>以下の文言を「5. 先修規定」として追記</p> <p>5. 先修規定</p> <p>原則、言語系科目の自由科目に先修科目（※）はない。但し、日本手話については先修科目が設けられているため、履修を希望する場合は必ず R Guide の科目表で詳細を確認すること。</p> <p>（※）先修科目とは、ある科目を履修するための条件として、先立って、単位を修得しておくことが必要な科目をいう。</p>
3/19	全 40	変更	言語系自由科目 自由科目 3. ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語	2. 母語話者の履修について	<p>文章中の以下の下線部を追記</p> <p>母語は履修してはならない。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>一部科目を（※）除き、母語は履修してはならない。</p> <p><u>（※）「～語 CLILO」については、母語話者の履修を認める。</u></p>

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F科目)	TOEIC → TOEIC®L&R
					主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるという旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス1・2」
3/19	全 31 ～ 全 34	変更	言語系自由科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024 年度 R Guide 掲載の 「言語自由科目 カリキュラムの改定について」 を参照すること。

<2023 年度中の訂正・変更箇所> なし

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F科目)	末尾に以下の内容を追記 「F 科目には3つのレベル（導入、中級、上級）がある。導入は「学びの精神」で開講され、授業中の使用言語は日本語中心だが、英語教材を使用し、英語で学ぶことを体験する。中級・上級は「多彩な学び」で開講される。中級は TOEIC550 点相当、上級は 700 点相当の英語力を有していることを前提に実施する。」
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目	1 自由科目 履修上の注意 言語自由科目（英語）	ステージ 2 基準点 CEFR B1 追加
					ステージ 3 基準点 CEFR B2 追加
					ステージ 4 基準点 CEFR B2 以上 追加

<2021 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による日本研究科目 (F 科目)	外国語による日本研究科目 (F 科目) ↓ 外国語による総合系科目 (F 科目)
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	オンデマンド授業科目 (D 科目)	項目削除
3/19	全 27	変更	言語系科目 指定年次・学期以後の単位修得方法	1 英語単位認定試験 受験手続	試験時間、試験場は全学共通科目掲示板に 掲示するので、事前に確認しておくこと。 ↓ 試験時間、試験場は R Guide で、事前に確認しておくこと。
3/19	全 28	変更	言語系科目 指定年次・学期以後の単位修得方法	英語再履修クラス「英語 R」の履修 3 履修に関する注意事項	(1) 履修登録および履修許可 履修希望者は、説明会に必ず出席し、説明 会で配付する「履修希望届」に必要事項を記 入の上、期日までに教務事務センターに提出 すること。締切日時を過ぎてからの提出は、 一切受け付けない。 ↓ (1) 履修登録および履修許可 履修希望者は、説明会に必ず出席するこ と。 <u>履修登録方法は当該年度の R Guide で確 認すること。</u> 締切日時を過ぎてからの申請 は、一切受け付けない。
3/19	全 31	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	3. 自由科目の修得単位の 扱いについて	ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国 語・朝鮮語 ↓ ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国 語・朝鮮語・ <u>ロシア語</u> ・ <u>ポルトガル語</u>

3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	5. 自由科目（英語）の履修について	以下の文言（下線部分）を追加 自由科目（英語）は必修科目単位修得者のみが履修できる（英語海外文化研修，国際交流制度短期英語研修プログラムを除く）。 <u>なお、履修中止ができないため各科目の履修レベルをしっかりと確認した上で履修計画を立てること。</u> ※3年次編入学生については、 <u>履修登録方法が異なる。登録方法の詳細については当該年度の R Guide にて確認すること。</u>		
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	7. 自由科目（ドイツ語，フランス語，スペイン語，中国語，朝鮮語）の履修について	以下の文言を追加 <u>母語は履修してはならない。母語を履修した場合，単位修得できないため注意すること。</u> <u>母語話者に当たるかどうかは各言語研究室で判断する。自身が母語話者であるかどうか不明な場合には，所定の期間内に教務事務センターに相談すること。詳細は R Guide で確認すること。</u>		
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	自由科目（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語）	以下の内容を表に追記 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">関連科目</td> <td style="padding: 2px;">言語情報処理論（～語）（2）</td> </tr> </table> ※詳細は 2021 年度入学者向け履修要項の全 32 頁を確認すること。	関連科目	言語情報処理論（～語）（2）
関連科目	言語情報処理論（～語）（2）						
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	自由科目	自由科目（ロシア語）の表追記 ※詳細は 2021 年度入学者向け履修要項の全 32 頁を確認すること。		
3/19	全 33	変更	言語系科目 自由科目 科目表	欄外記載の注意事項	※担当者，開講学期，登録方法等は当該年度の R Guide で確認すること。 ↓ ※下記の科目表は入学年度 4 月時点のものである。担当者，開講学期，配当年次，登録方法を含む最新の科目表は R Guide で確認すること。		

<2020 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
5/13	全 15	変更	科目表 スポーツ実習 スポーツスタディ	科目名 単位	「スポーツスタディ e」 2 単位（追加）

11/9	全 17 全 19 全 22 全 31	訂正	言語系科目 適用年次	3 年次編入入学者 適用年次	2018・2019 年度 3 年次編入学者に適用 ↓ 2018 年度以降 3 年次編入学者に適用
11/9	全 33	変更	自由科目 科目表	科目名 単位	2020 年度以下の科目を新設 「オンライン海外語学研修科目（英語）」 1 単位（追加）

以 上